

最近の経済動向

平成29年2月号

北海道の景気動向(平成28年12月の経済指標を中心として)

一部に弱い動きがみられるものの、緩やかに持ち直している

■需要動向(消費・投資)

- P 1 個人消費(百貨店・スーパー販売額、コンビニエンスストア販売額、新車登録台数)
緩やかに持ち直している
- P 2 住宅建設(新設住宅着工戸数)
持ち直している
- P 3 公共工事(公共工事請負金額)
増加している
- P 3 観光(来道者数)
改善している
- P 4 輸出入(輸出入額)
輸出額、輸入額とも前年を下回った

■生産動向

- P 4 生産活動(鉱工業生産指数)
一進一退の動きとなっている
- P 5 企業倒産(件数、負債総額)
倒産件数、負債総額とも減少した

■雇用動向

- P 6 求人・求職(月間有効求人数・求職者数、有効求人倍率)
改善している
- P 7 失業(完全失業者数、完全失業率)

■物価動向

- P 7 物価(消費者物価指数)
消費者物価指数は前年を上回った

■企業情報

- P 8 企業のみなさまから伺いました

■地域の経済動向

- P 9 道南圏、道央圏、道北圏、オホーツク圏、十勝圏、釧路・根室圏

■景気動向指数・全国の景気

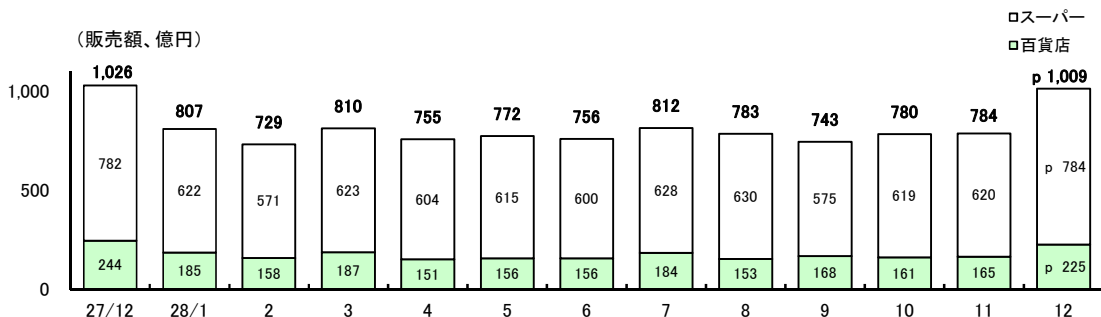
- P 15 北海道の景気動向指数

[需要動向(消費・投資)]

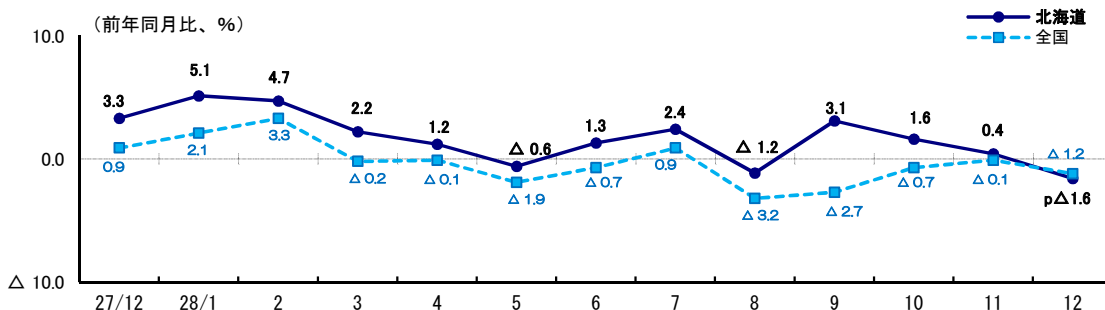
■個人消費～緩やかに持ち直している

◆百貨店・スーパー(全店)販売額(12月)◆

百貨店・スーパー販売額は、1,009億円で前年同月比1.6%の減少となり、4か月ぶりに前年を下回った。



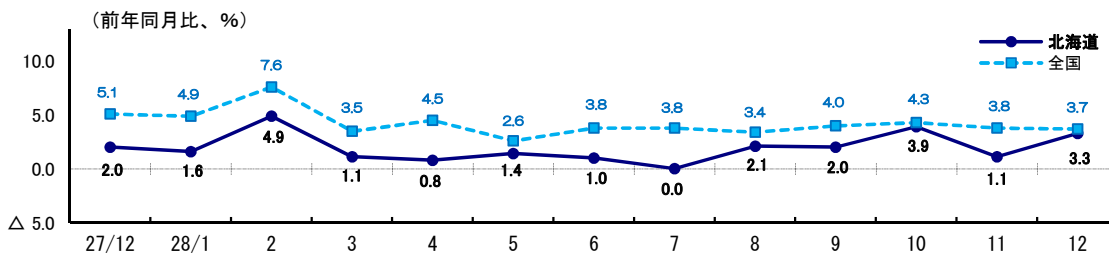
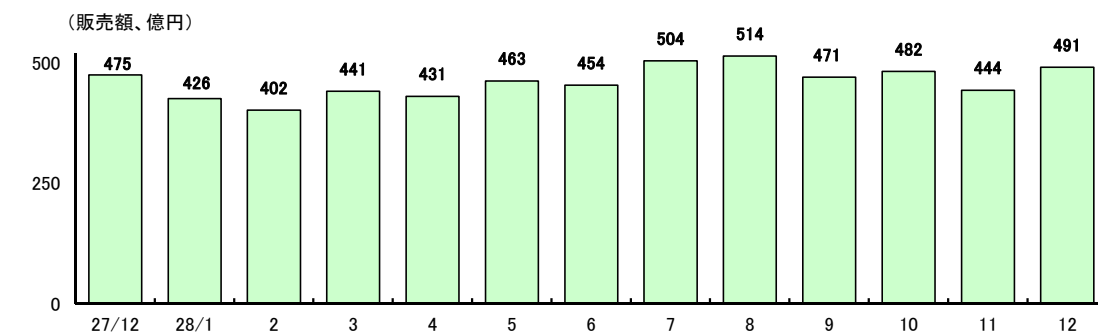
(注)pは速報値(以下同様)



(経済産業省、北海道経済産業局調べ)

◆コンビニエンスストア(全店)販売額(12月)◆

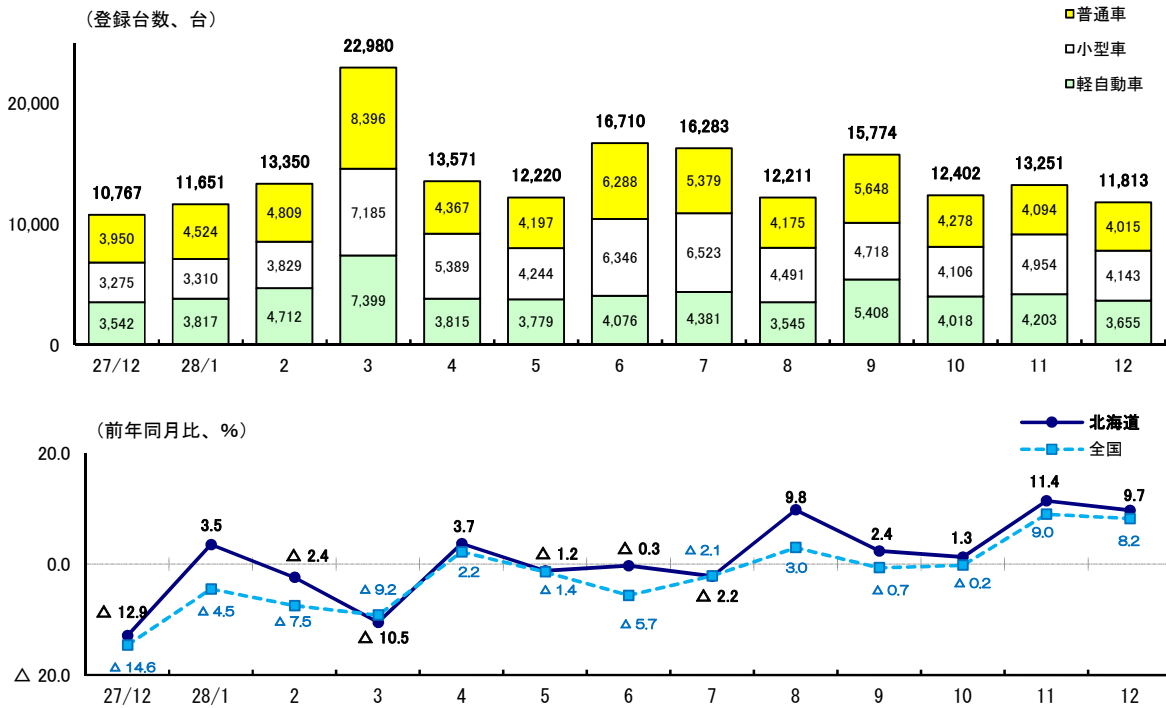
コンビニエンスストア販売額は、491億円で前年同月比3.3%の増加となり、5か月連続で前年を上回った。



(経済産業省、北海道経済産業局調べ)

◆新車登録台数（12月）◆

新車登録台数は、11,813台で前年同月比9.7%の増加となり、5か月連続で前年を上回った。

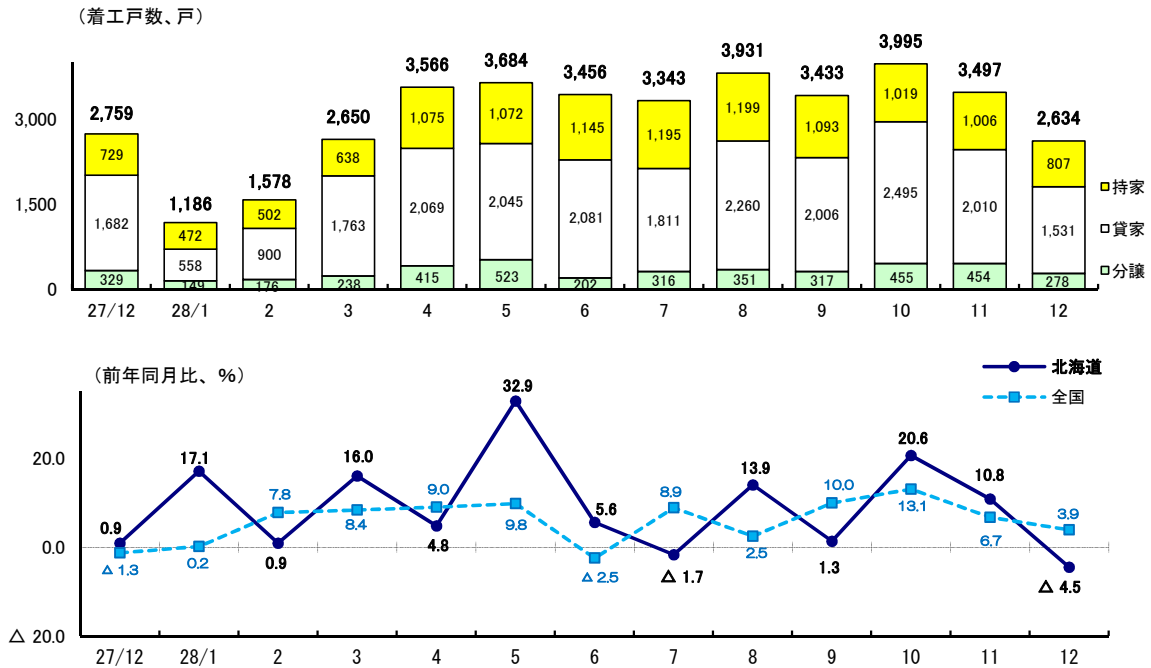


((一社)日本自動車販売協会連合会、(一社)全国軽自動車協会連合会調べ)

■住宅建設～持ち直している

◆新設住宅着工戸数（12月）◆

総戸数は、2,634戸で前年同月比4.5%の減少となり、5か月ぶりに前年を下回った。

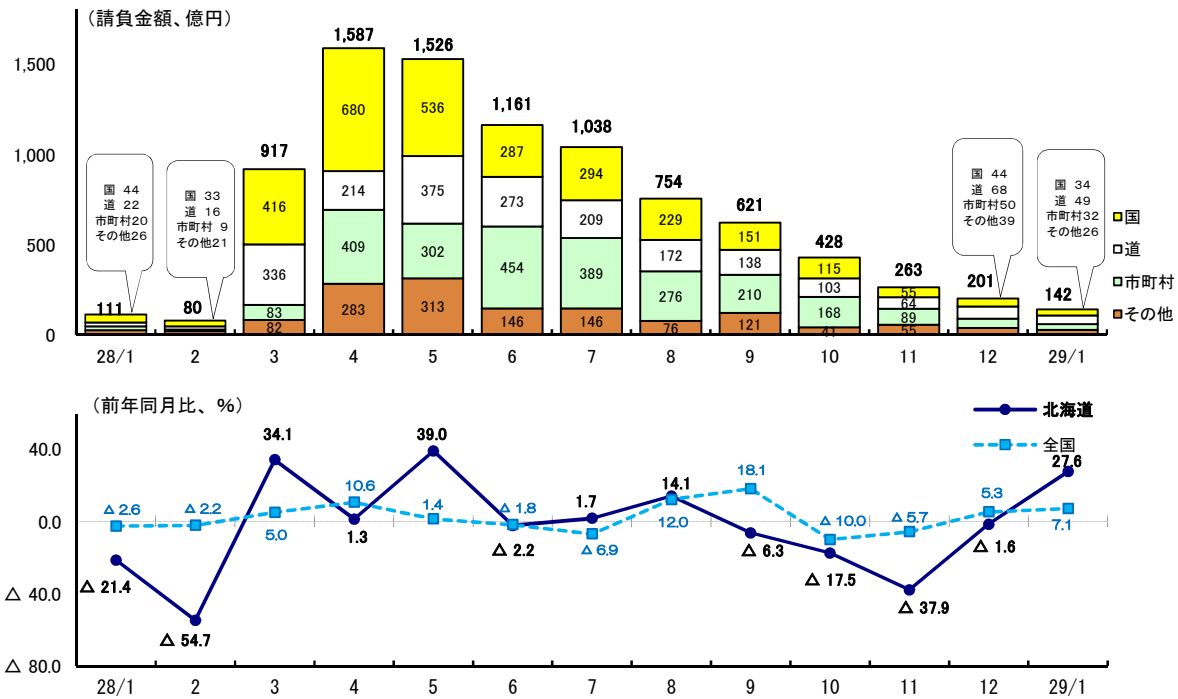


(国土交通省住宅局調べ)

■公共工事～増加している

◆公共工事請負金額（1月）◆

請負金額は、142億円で前年同月比27.6%の増加となり、5か月ぶりに前年を上回った。



(北海道建設業信用保証(株)調べ)

■観光～改善している

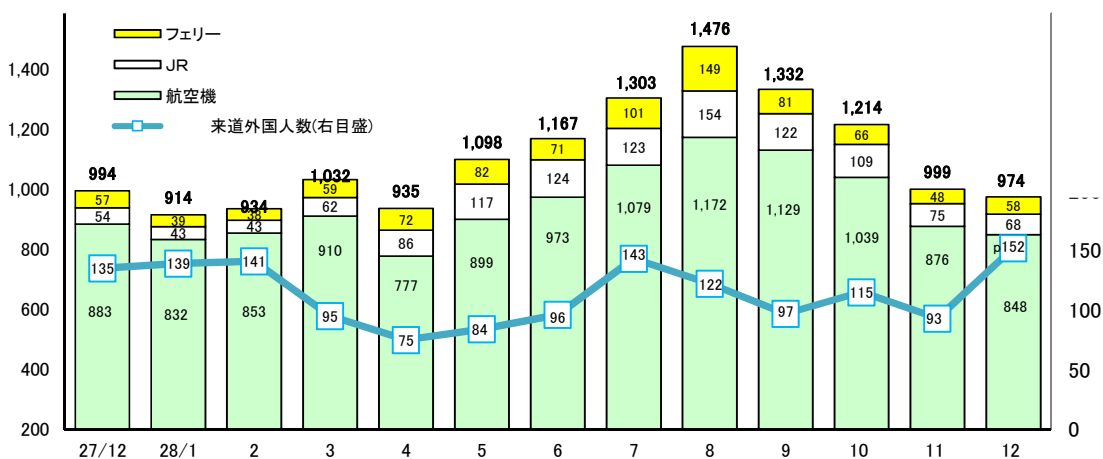
◆来道者数（12月）◆

来道者数は、97万4千人で前年同月比2.0%の減少となり、26か月ぶりに前年を下回った。

本道に直接入国した外国人は、15万2千人で同12.4%の増加となり、7か月連続で前年を上回った。

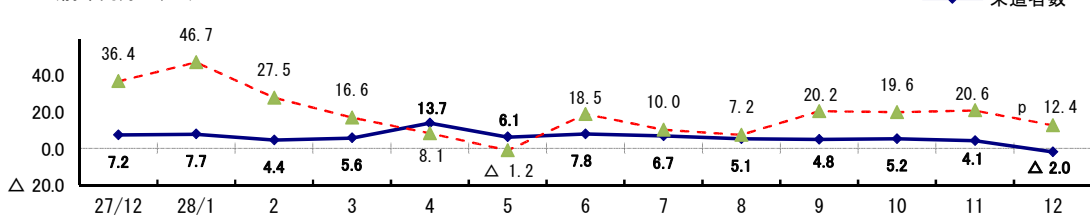
(来道者数、千人)

(来道外国人数、千人)



(前年同月比、%)

来道者数

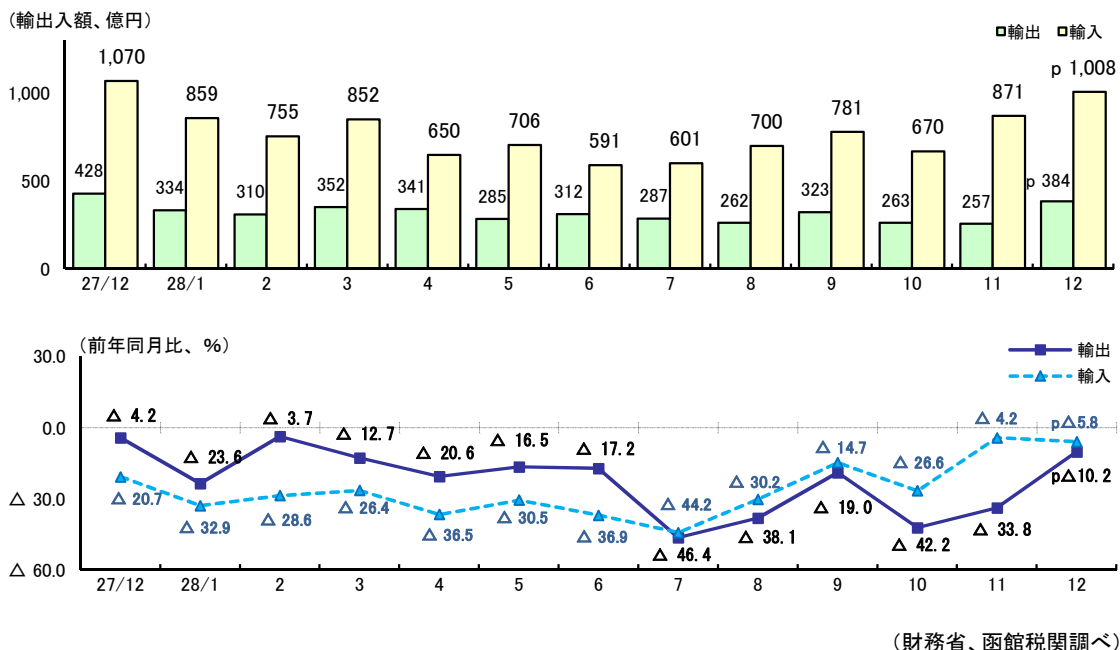


((公社)北海道観光振興機構、法務省入国管理局調べ)

■輸出入～輸出額、輸入額とも前年を下回った

◆輸出入額（12月）◆

輸出額は、384億円で前年同月比10.2%の減少となり、14か月連続で前年を下回った。
輸入額は、1,008億円で同5.8%の減少となり、17か月連続で前年を下回った。

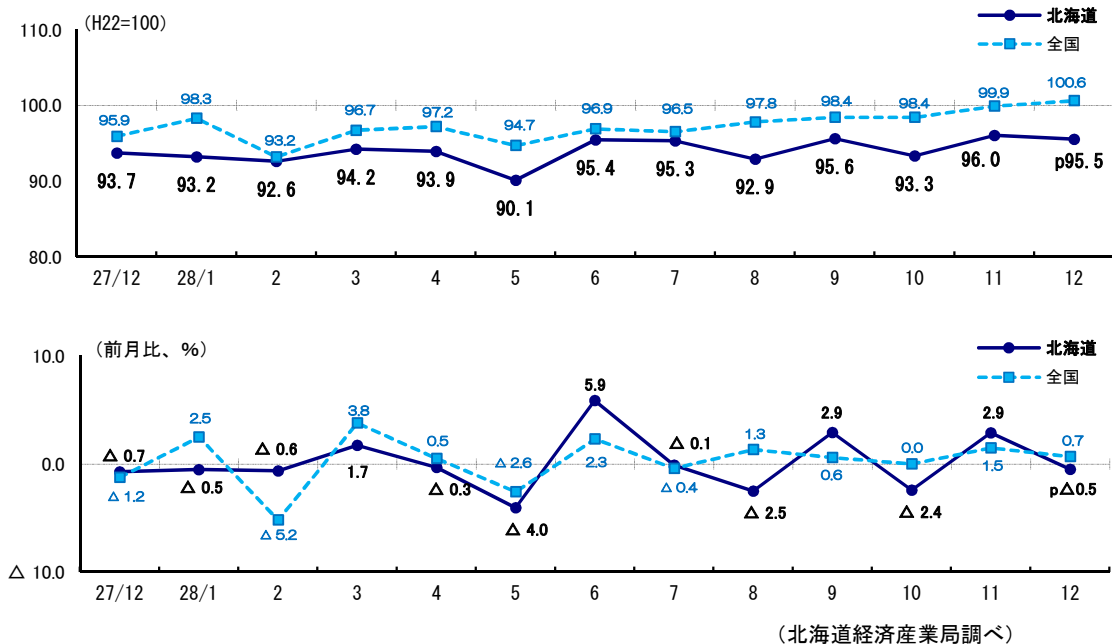


[生産動向]

■生産活動～一進一退の動きとなっている

◆鉱工業生産指数（12月）

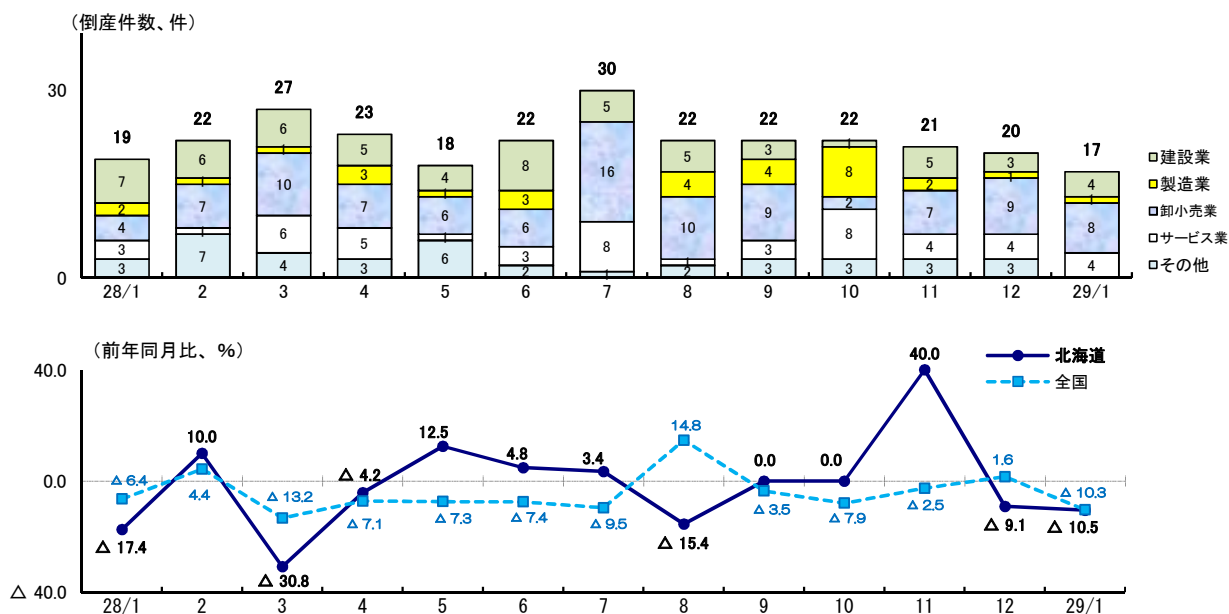
鉱工業生産指数(季節調整済)は、95.5で前月比0.5%の低下となり2か月ぶりに前月を下回った。



■企業倒産～倒産件数、負債総額とも減少した

◆企業倒産件数（1月）◆

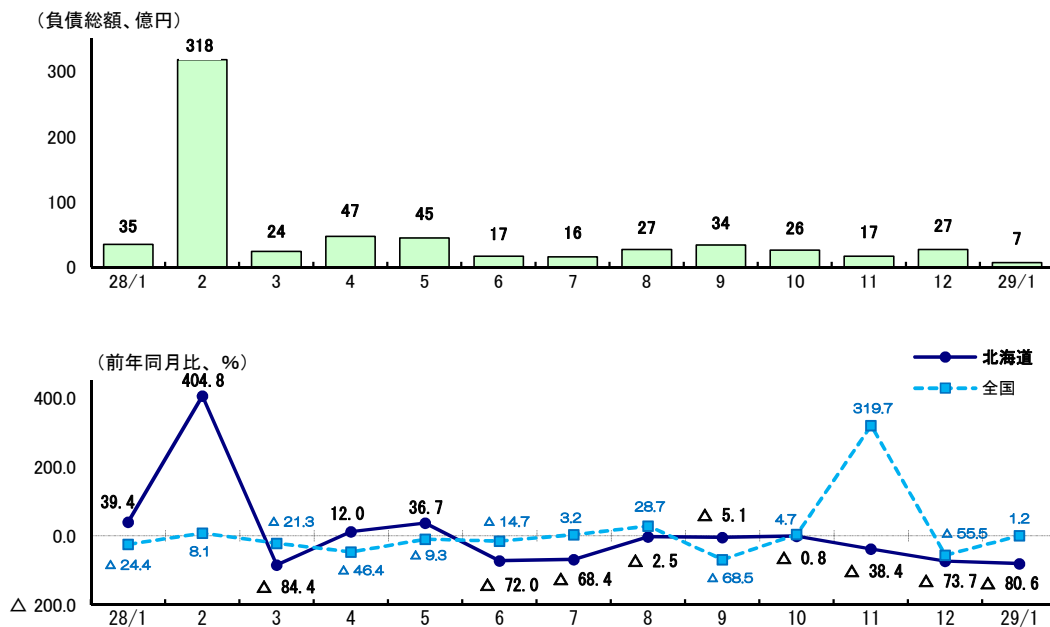
企業倒産件数は、17件で前年同月比10.5%の減少となり、2か月連続で前年を下回った。



((株)東京商工リサーチ北海道支社調べ)

◆負債総額（1月）◆

負債総額は、7億円で前年同月比80.6%の減少となり、8か月連続で前年を下回った。



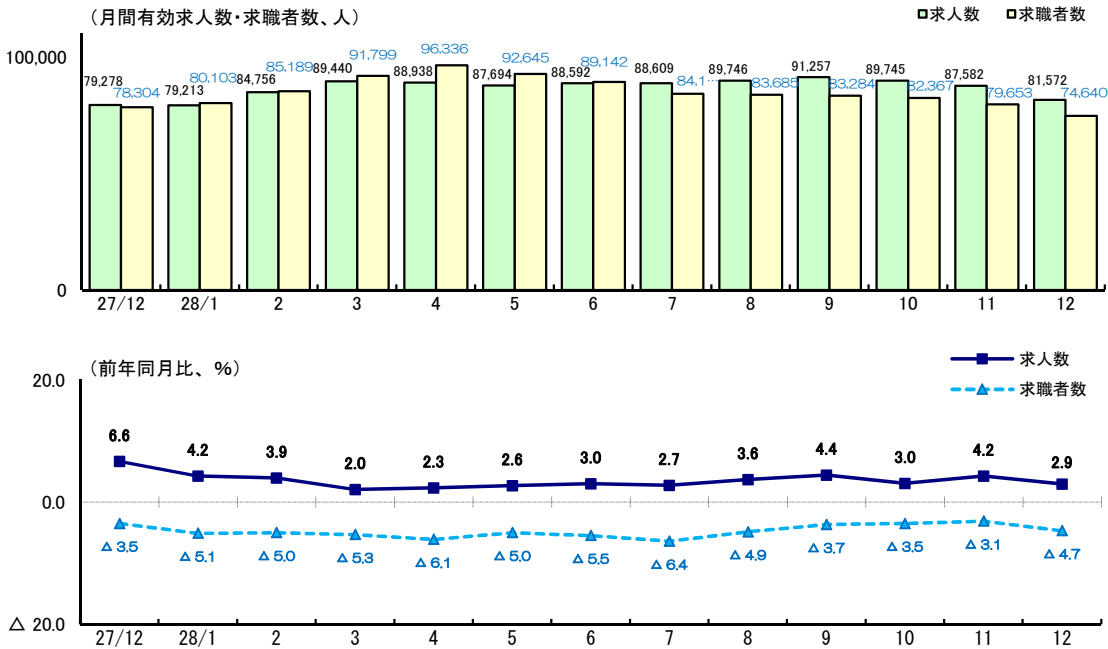
((株)東京商工リサーチ北海道支社調べ)

[雇用動向]

■求人・求職～改善している

◆月間有効求人数・求職者数（12月）◆

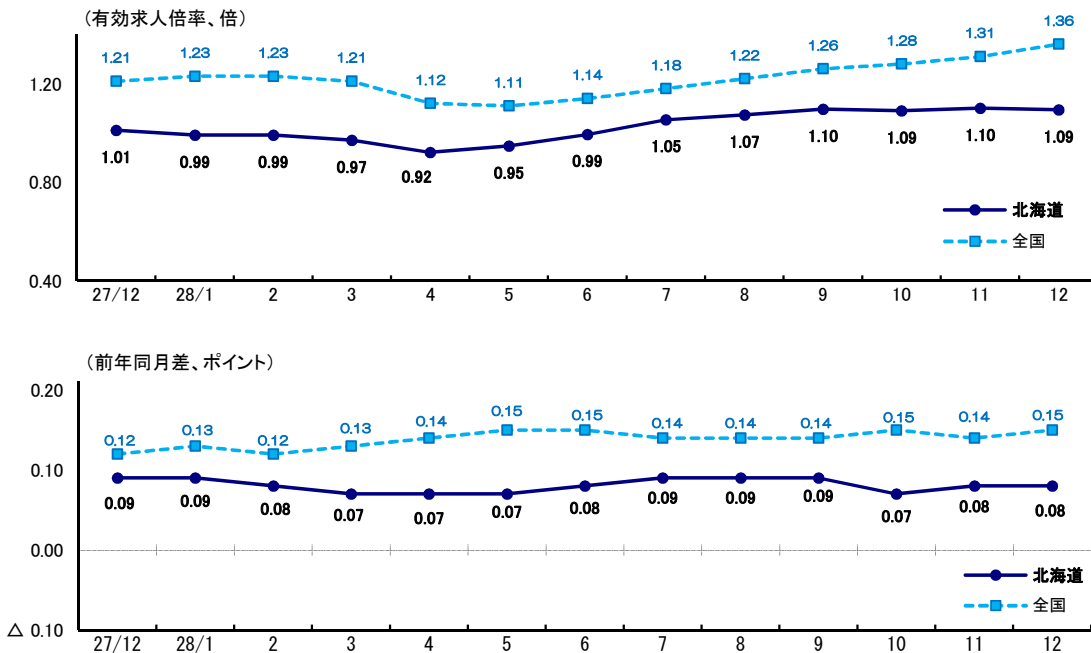
月間有効求人数は、8万1,572人で前年同月比2.9%の増加となり、83か月連続で前年を上回った。
月間有効求職者数は、7万4,640人で同4.7%の減少となり、62か月連続で前年を下回った。



(厚生労働省及び北海道労働局調べ)

◆有効求人倍率（12月）◆

有効求人倍率は、1.09倍で前年同月差で0.08ポイントの増加となり、83か月連続で前年を上回った。

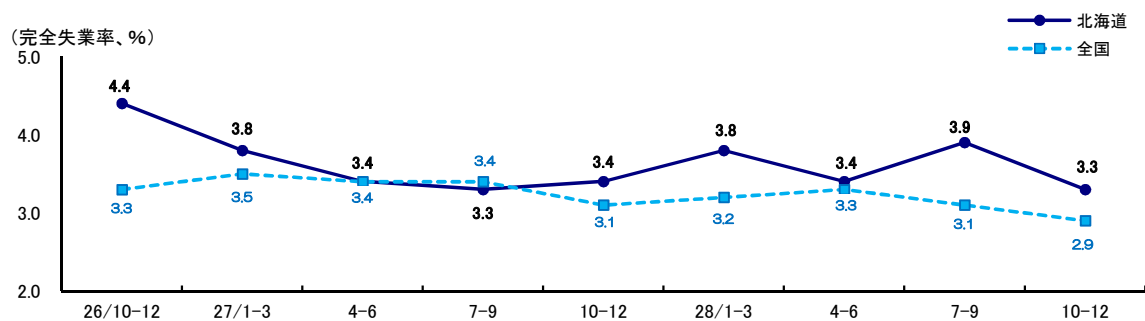
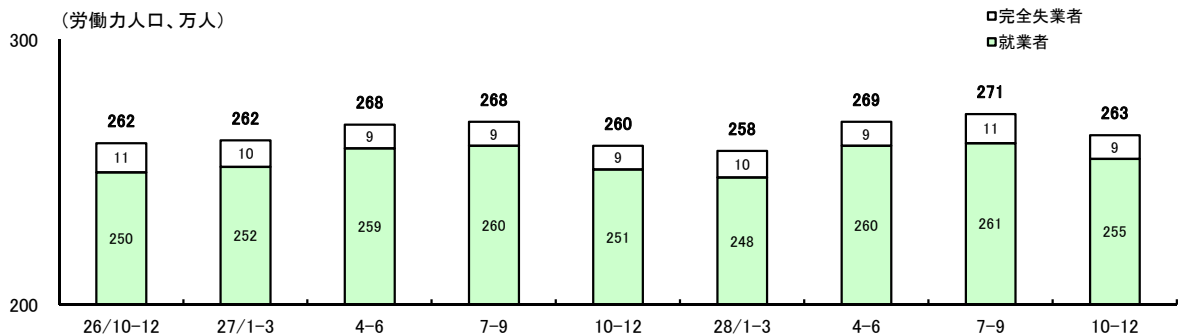


(厚生労働省及び北海道労働局調べ)

■失 業

◆完全失業者数、完全失業率（28年10-12月期）◆

完全失業者数は、9万人で前年同期と同数となっている。
完全失業率は、3.3%で前年同期から0.1ポイント低下した。



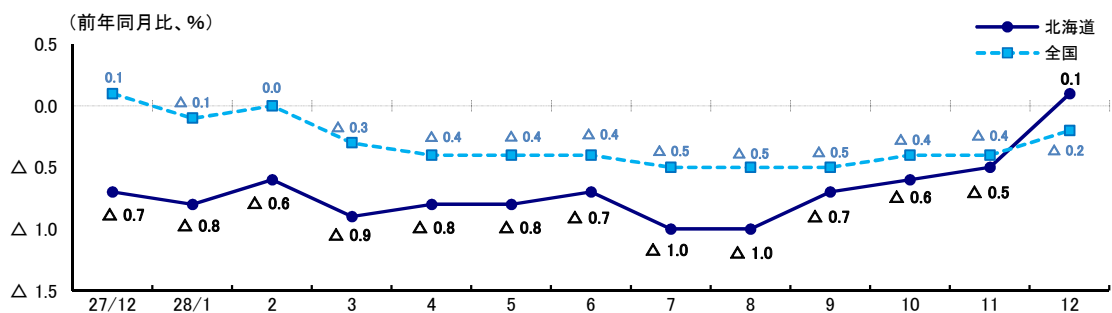
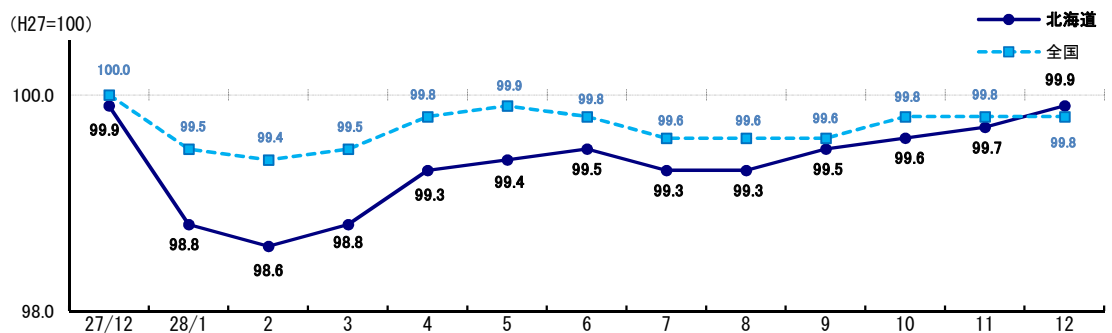
(総務省調べ)

[物価動向]

■物 価～消費者物価指数は前年を上回った

◆消費者物価指数（生鮮食品除く）（12月）◆

消費者物価指数は、99.9で前年同月と比べ0.1%の上昇となり、21か月ぶりに前年を上回った。



(総務省調べ)

[企業情報]

■企業のみなさまから伺いました

◆百貨店(道央地域)

【インバウンドの影響で売上は好調に推移】

1月は、天候が穏やかに経過したことやインバウンドの売上が好調となったため、全体の売上は2ヵ月連続で前年同月を上回った。

特にインバウンドについて、今年は春節休暇が昨年より早く1月後半から始まったことや、中国との直行便が増便されたことなどで、来道外国人が増加し、化粧品や食品といった消耗品の売上が好調に推移し、免税品の売上、件数がともに単月で過去最高を記録した。

◆スーパー(道央地域)

【客数は伸びなかったが客単価は上昇】

1月は、気温は平年並みで降雪量も少ないなど、穏やかな天候が続いたにも関わらず、元日が日曜日だったことで、昨年と比較して土日の営業日が少なくなり、来店客数が伸びなかったが、客単価が上昇していることから、売り上げは前年並みを維持することができた。

調理しやすく価格も安定しているカット野菜の売れ行きは、先月に続き好調となった。

2月は節分やバレンタインなどのイベントが控えており、売り上げが伸びることを期待している。

◆コンビニエンスストア(道央地域)

【気温が低い影響で暖かい飲料水などが好調】

1月は、気温がやや低めに推移したため、温かい飲料水や麺類が好調だった。

道東地域では雪が多く客足に影響があったが、道東以外は比較的穏やかな天候となったため、例年並みの売上があった。こうした中、ニセコや洞爺湖地域など道央の観光地を中心に外国人観光客の客足が伸び売上に好影響があった。

◆建設業(道央地域)

【先行きを見越した計画的な事業の推進】

道央圏では、貸家の新築が堅調に推移しているが、供給過剰となりつつあることから、これからは供給件数は減少に転じるものと見込んでおり、先行きは楽観視できない。

また、新しい物件が増加していく中、古い物件は空室が目立ってきており、家賃価格も下降傾向にあることから、今後は計画的な建て替えを進めていくことが必要と考えている。

【人材の確保と定着が課題】

大型公共事業などに現場監督や職人が取られるため、慢性的な人手不足となっているほか、若者の離職率が高くなっており、事業の実施に支障をきたしている。

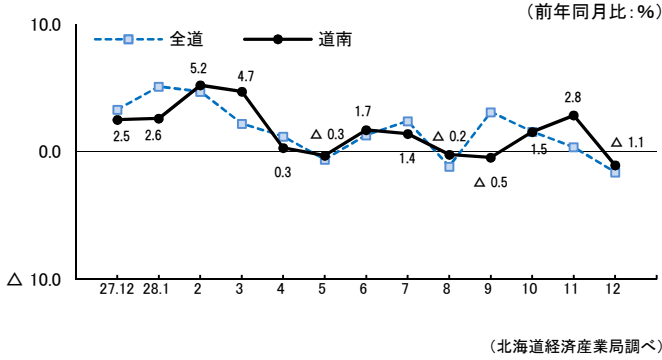
募集しても応募がない状況であり、人材の確保と定着が大きな課題となっている。

[地域の経済動向]

■道南圏

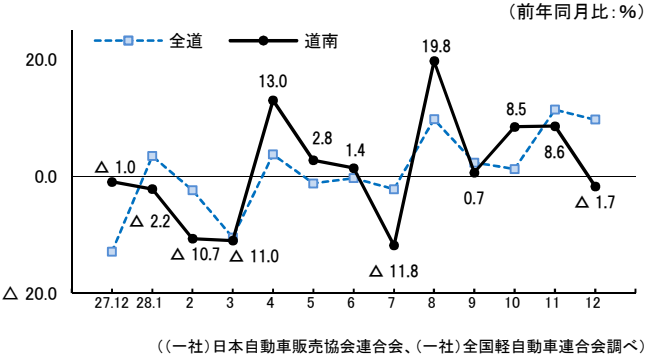
◆百貨店・スーパー販売額(全店)(12月)◆

(全店、函館市)
3か月ぶりに前年を下回った



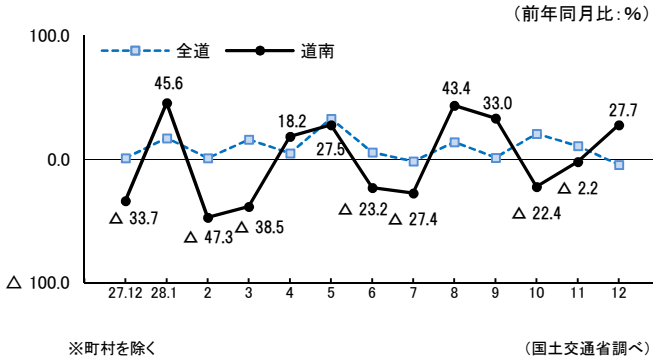
◆新車登録台数(乗用車)(12月)◆

5か月ぶりに前年を下回った



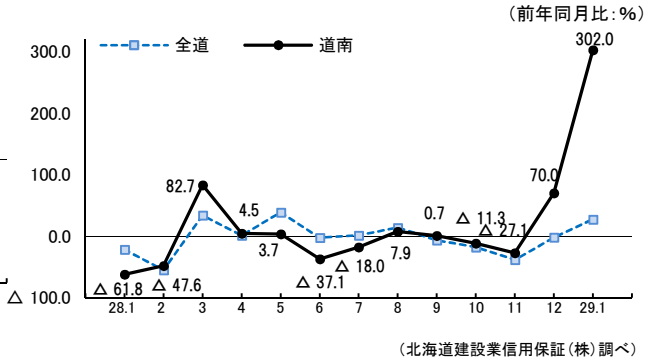
◆新設住宅着工戸数(12月)◆

3か月ぶりに前年を上回った



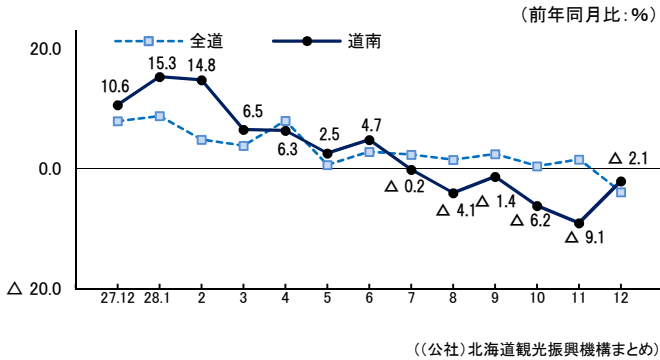
◆公共工事請負金額(1月)◆

2か月連続で前年を上回った



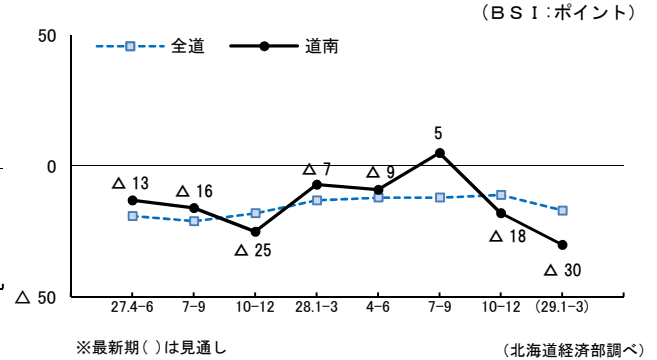
◆航空機利用による来道者数(着地別)(12月)◆

6か月連続で前年を下回った



◆企業の業況感(10-12月期)◆

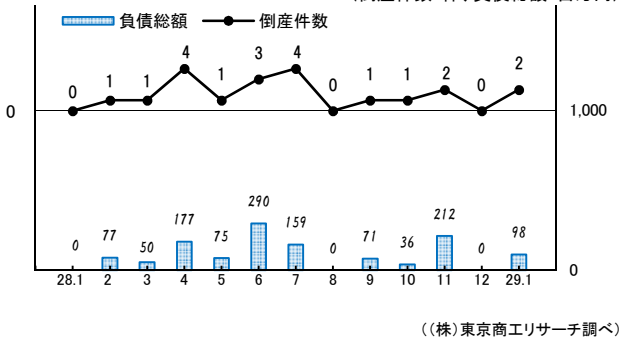
今期はマイナスに転換した



◆企業倒産件数・負債総額(1月)◆

10億円以上の大型倒産は発生しなかった

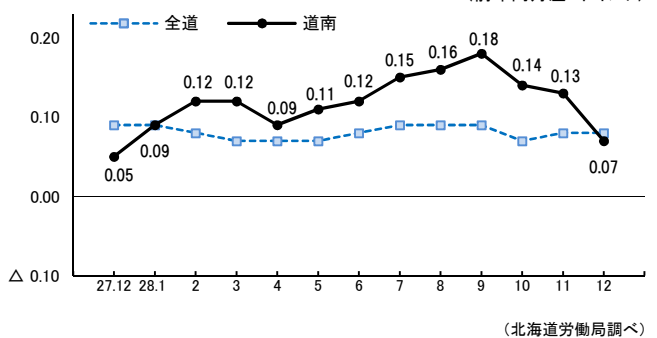
(倒産件数:件、負債総額:百万円)



◆有効求人倍率(12月)◆

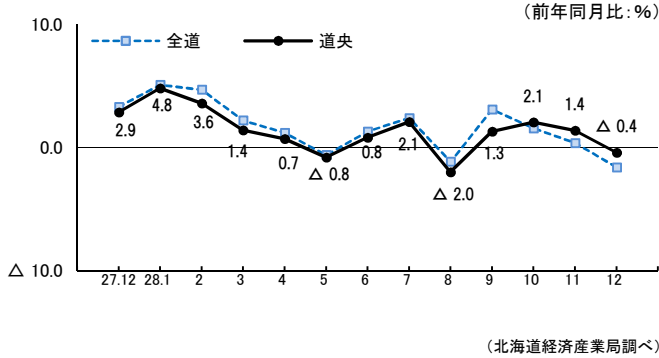
80か月連続で前年を上回った

(前年同月差:ポイント)

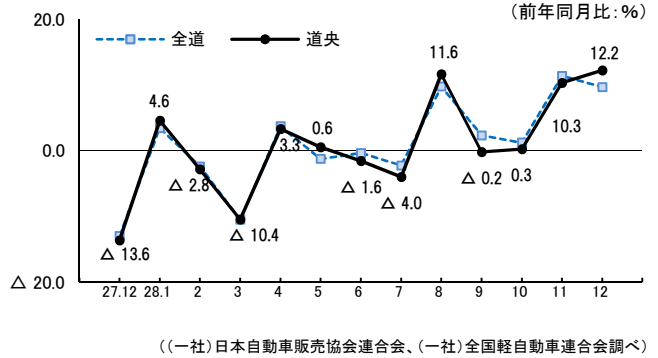


■道央圏

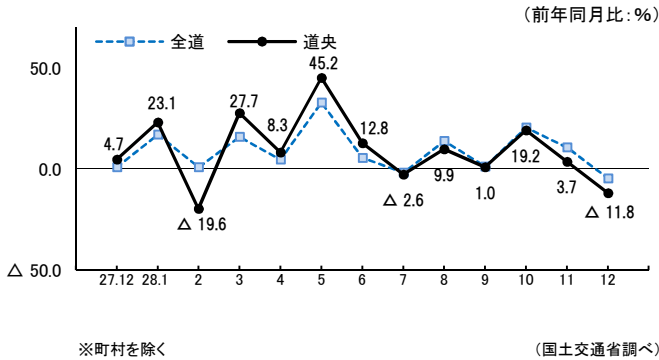
◆百貨店・スーパー販売額(全店)(12月)◆ (全店、札幌市・小樽市・苫小牧市・室蘭市) 4か月ぶりに前年を下回った



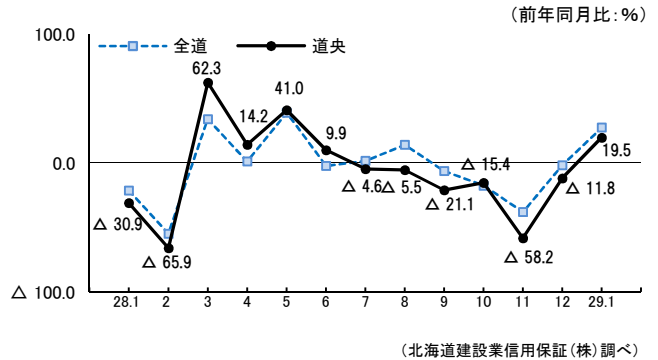
◆新車登録台数(乗用車)(12月)◆ 3か月連続で前年を上回った



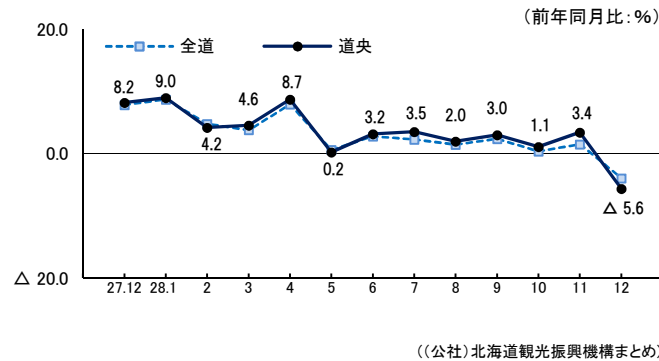
◆新設住宅着工戸数(12月)◆ 5か月ぶりに前年を下回った



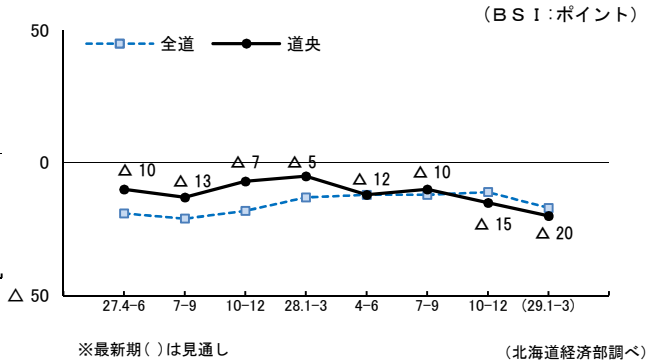
◆公共工事請負金額(1月)◆ 7か月ぶりに前年を上回った



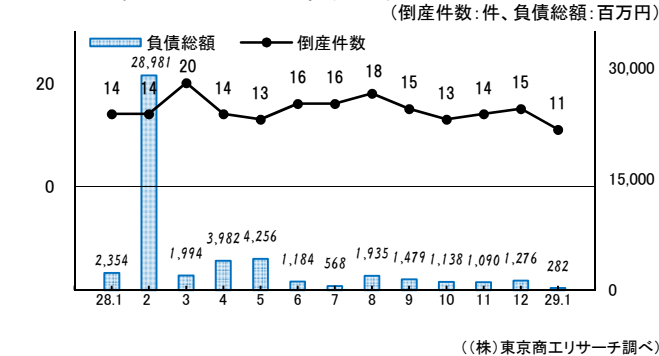
◆航空機利用による来道者数(着地別)(12月)◆ 30か月ぶりに前年を下回った



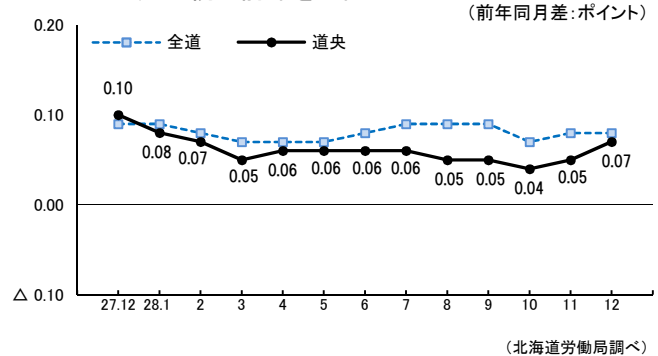
◆企業の業況感(10-12月期)◆ 前期からマイナス幅が拡大した



◆企業倒産件数・負債総額(1月)◆ 10億円以上の大型倒産は発生しなかった



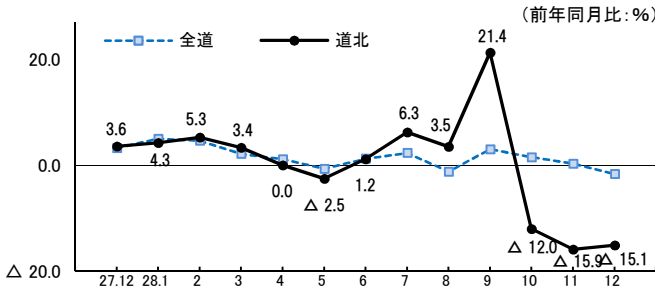
◆有効求人倍率(12月)◆ 82か月連続で前年を上回った



■道北圏

◆百貨店・スーパー販売額(全店)(12月)◆

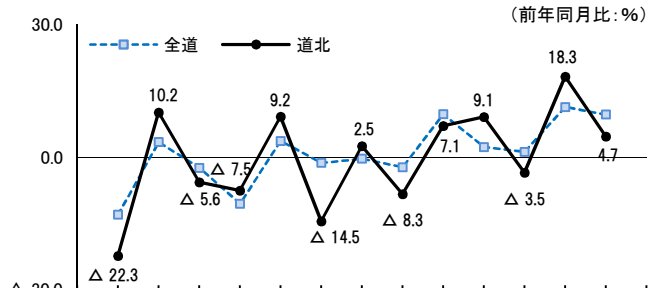
(全店、旭川市)
3か月連続で前年を下回った



(北海道経済産業局調べ)

◆新車登録台数(乗用車)(12月)◆

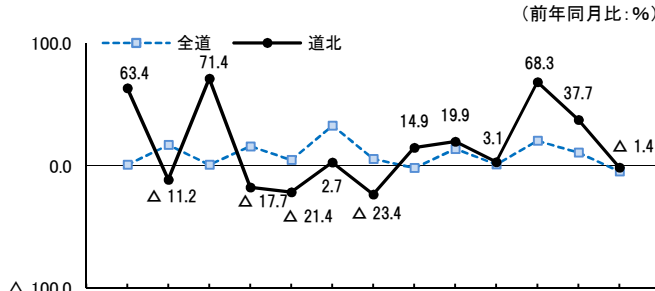
2か月連続で前年を上回った



(一社)日本自動車販売協会連合会、(一社)全国軽自動車連合会調べ

◆新設住宅着工戸数(12月)◆

6か月ぶりに前年を下回った

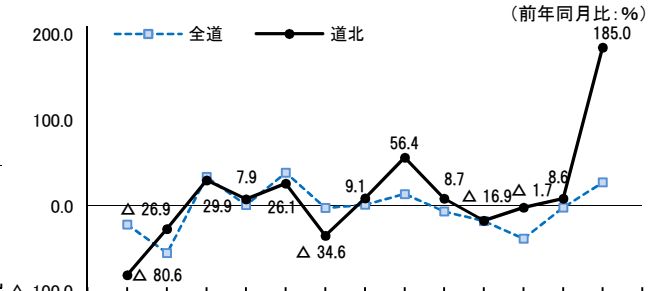


※町村を除く

(国土交通省調べ)

◆公共工事請負金額(1月)◆

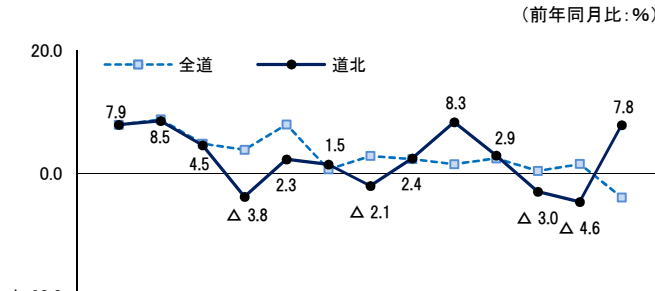
2か月連続で前年を上回った



(北海道建設業信用保証(株)調べ)

◆航空機利用による来道者数(着地別)(12月)◆

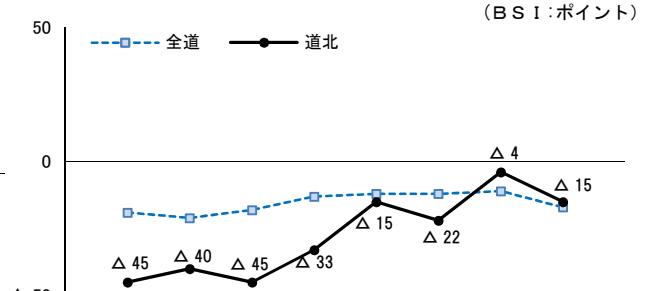
3か月ぶりに前年を上回った



((公社)北海道観光振興機構まとめ)

◆企業の業況感(10-12月期)◆

前期からマイナス幅が縮小した



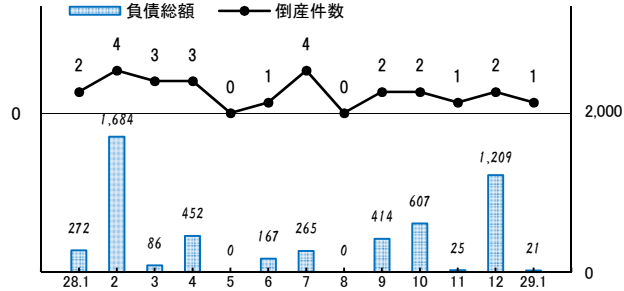
※最新期()は見通し

(北海道経済部調べ)

◆企業倒産件数・負債総額(1月)◆

10億円以上の大型倒産は発生しなかった

(倒産件数:件、負債総額:百万円)

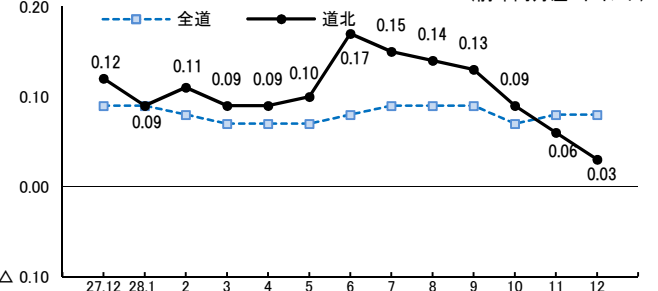


(株)東京商工リサーチ調べ

◆有効求人倍率(12月)◆

84か月連続で前年を上回った

(前年同月差:ポイント)

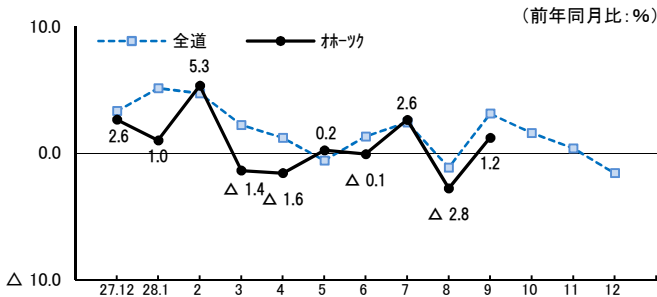


(北海道労働局調べ)

■オホーツク圏

◆主要小売店売上高（全店）（9月）◆

2か月ぶりに前年を上回った

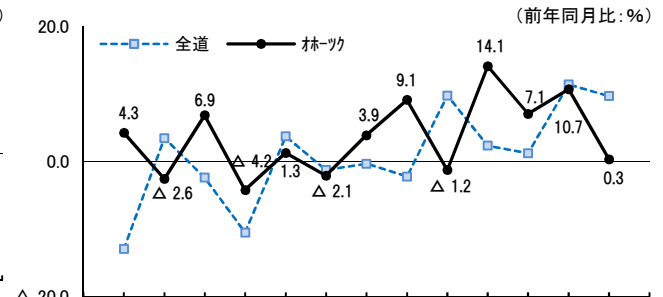


※全道は大型小売店販売額

(北海道財務局北見出張所調べ)

◆新車登録台数(乗用車)（12月）◆

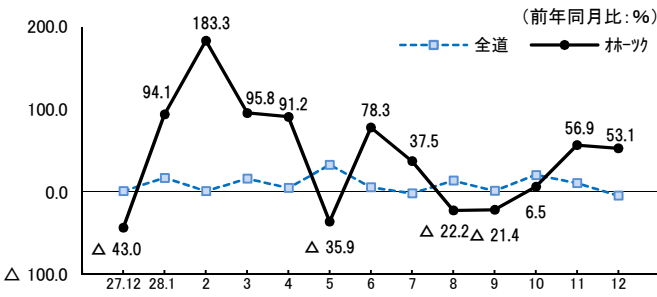
4か月連続で前年を上回った



((一社)日本自動車販売協会連合会、(一社)全国軽自動車連合会調べ)

◆新設住宅着工戸数（12月）◆

3か月連続で前年を上回った

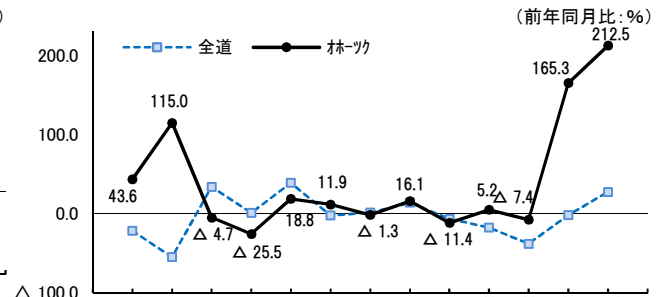


※町村を除く

(国土交通省調べ)

◆公共工事請負金額（1月）◆

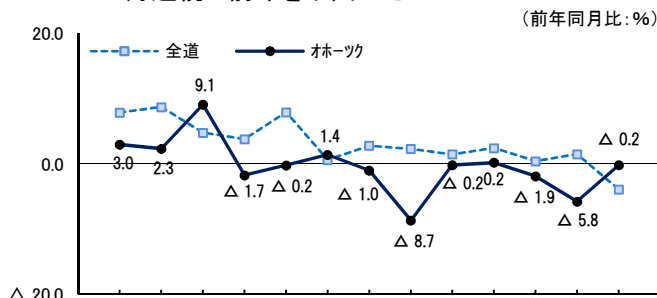
2か月連続で前年を上回った



(北海道建設業信用保証(株)調べ)

◆航空機利用による来道者数(着地別)（12月）◆

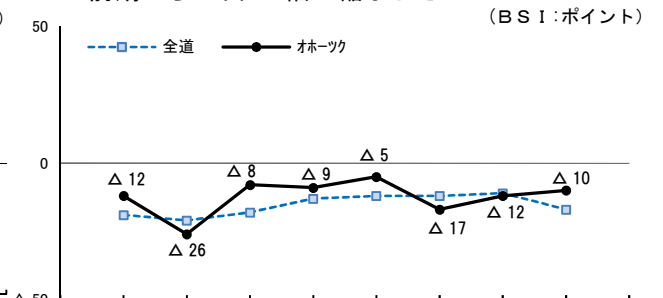
3か月連続で前年を下回った



((公社)北海道観光振興機構まとめ)

◆企業の業況感（10-12月期）◆

前期からマイナス幅が縮小した



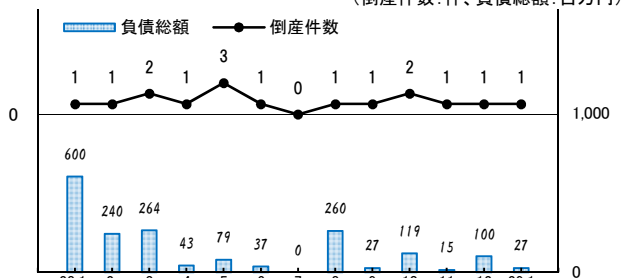
※最新期()は見通し

(北海道経済部調べ)

◆企業倒産件数・負債総額（1月）◆

10億円以上の大型倒産は発生しなかった

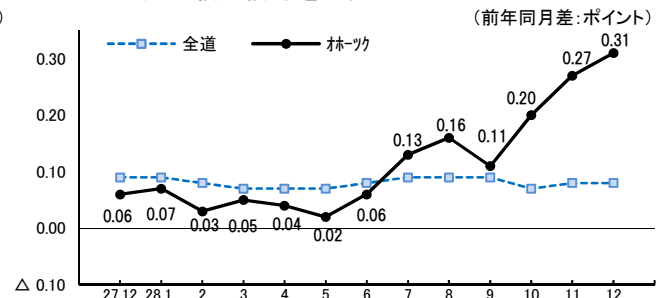
(倒産件数:件、負債総額:百万円)



((株)東京商工リサーチ調べ)

◆有効求人倍率（12月）◆

88か月連続で前年を上回った



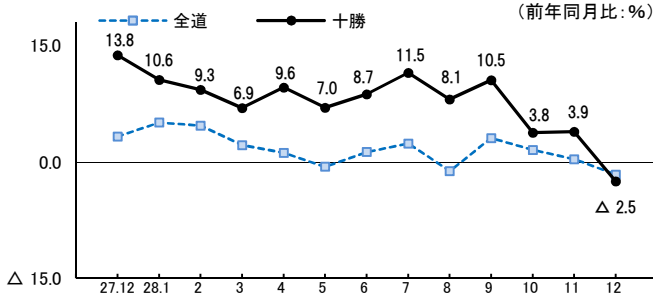
(北海道労働局調べ)

■十勝圏

◆百貨店・スーパー販売額(全店)(12月)◆

(全店、帯広市)

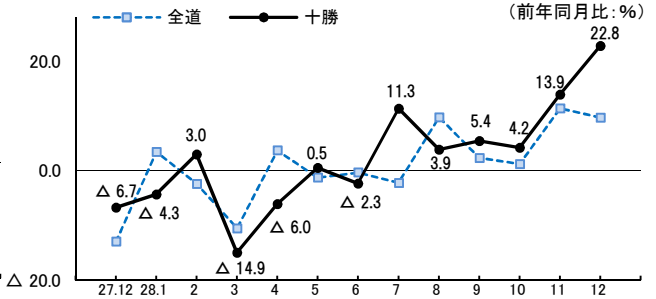
18か月ぶりに前年を下回った



(北海道経済産業局調べ)

◆新車登録台数(乗用車)(12月)◆

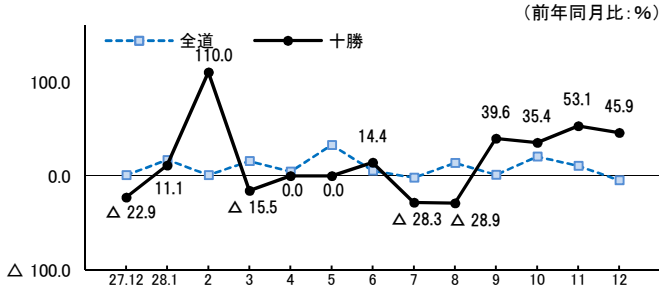
6か月連続で前年を上回った



((一社)日本自動車販売協会連合会、(一社)全国軽自動車連合会調べ)

◆新設住宅着工戸数(12月)◆

4か月連続で前年を上回った

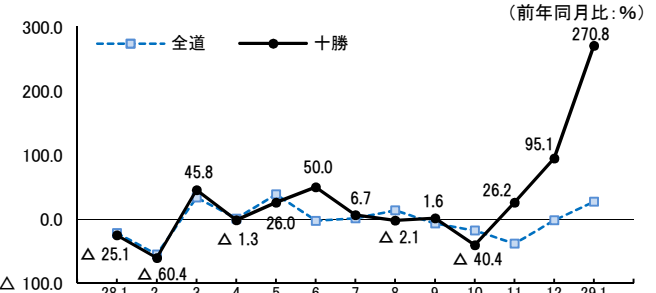


※町村を除く

(国土交通省調べ)

◆公共工事請負金額(1月)◆

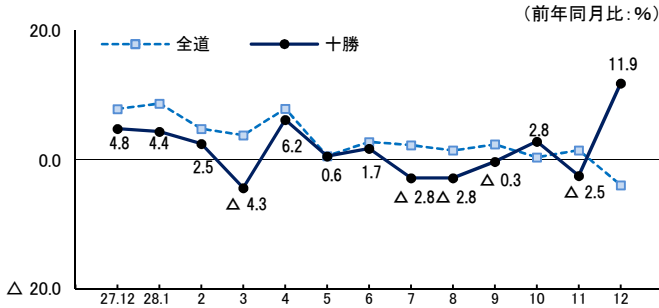
3か月連続で前年を上回った



(北海道建設業信用保証(株)調べ)

◆航空機利用による来道者数(着地別)(12月)◆

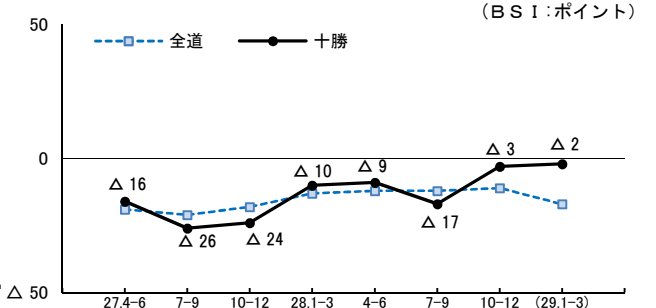
2か月ぶりに前年を上回った



((公社)北海道観光振興機構まとめ)

◆企業の業況感(10-12月期)◆

前期からマイナス幅が縮小した

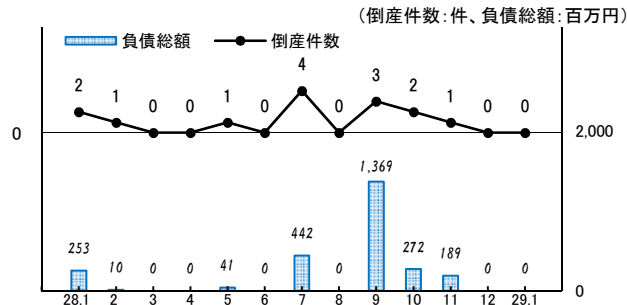


※最新期()は見通し

(北海道経済部調べ)

◆企業倒産件数・負債総額(1月)◆

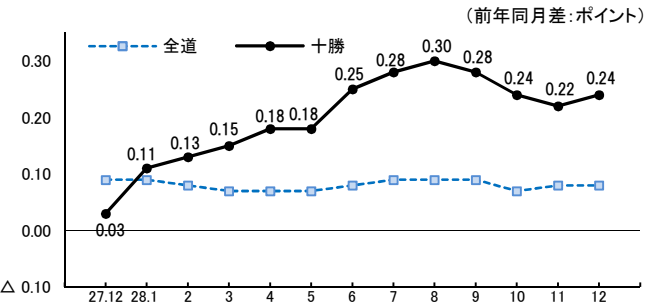
倒産は発生しなかった



(株)東京商工リサーチ調べ)

◆有効求人倍率(12月)◆

25か月連続で前年を上回った

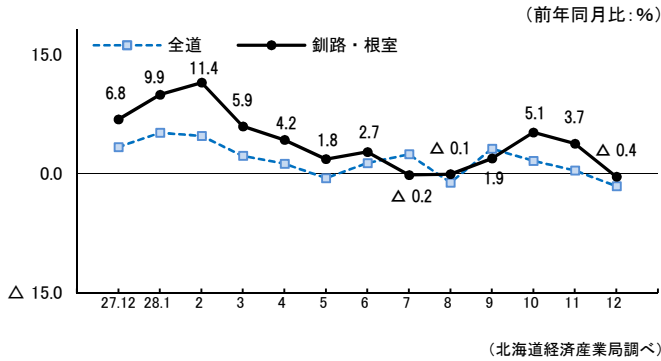


(北海道労働局調べ)

■釧路・根室圏

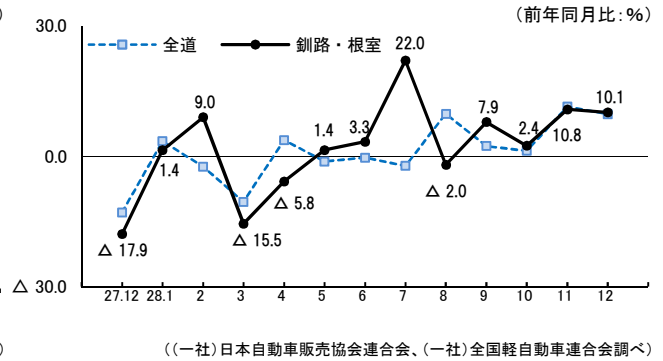
◆百貨店・スーパー販売額(全店)(12月)◆

(全店、釧路市)
4か月ぶりに前年を下回った



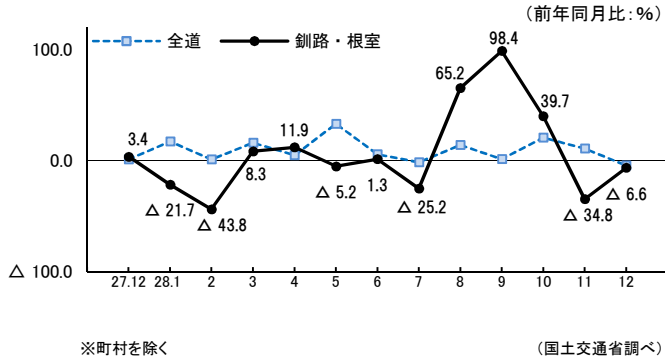
◆新車登録台数(乗用車)(12月)◆

4か月連続で前年を上回った



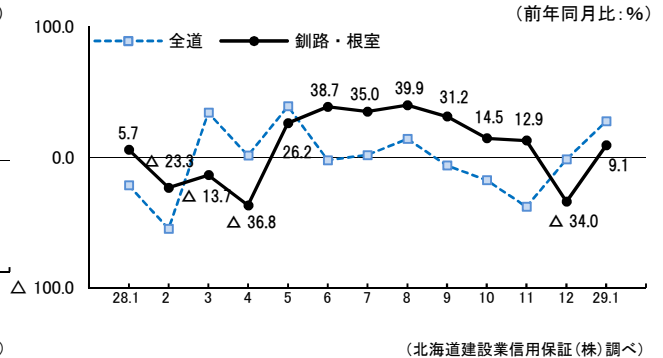
◆新設住宅着工戸数(12月)◆

2か月連続で前年を下回った



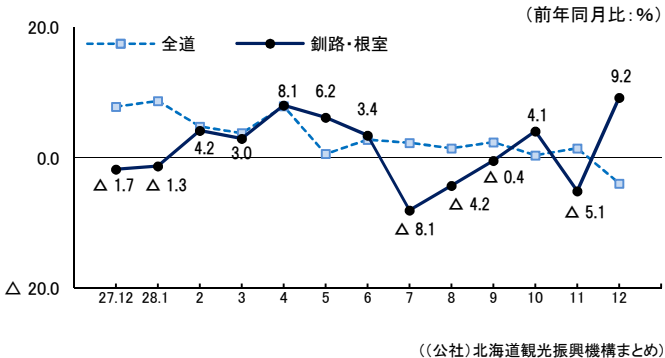
◆公共工事請負金額(1月)◆

2か月ぶりに前年を上回った



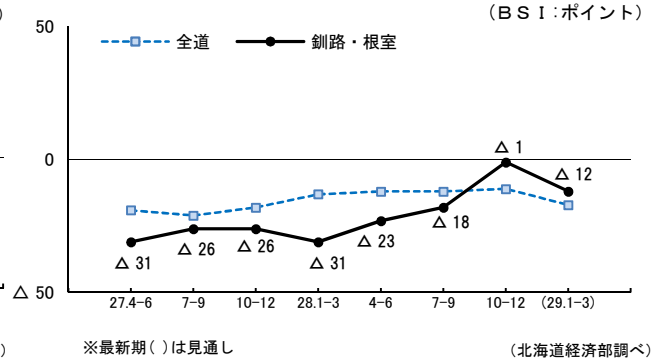
◆航空機利用による来道者数(着地別)(12月)◆

2か月ぶりに前年を上回った



◆企業の業況感(10-12月期)◆

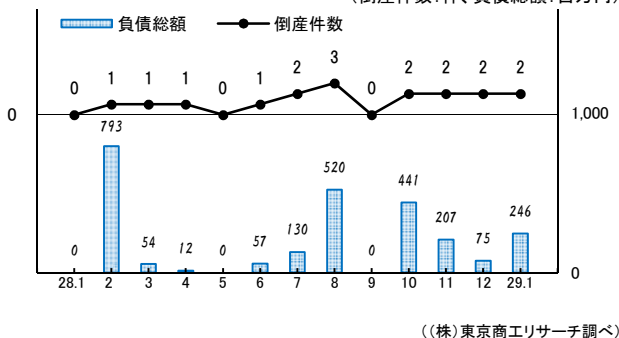
前期からマイナス幅が縮小した



◆企業倒産件数・負債総額(1月)◆

10億円以上の大型倒産は発生しなかった

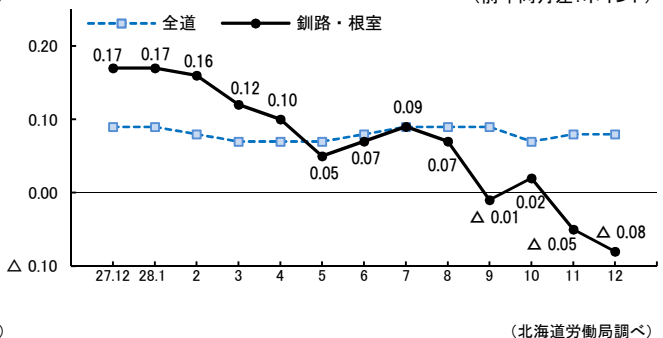
(倒産件数:件、負債総額:百万円)



◆有効求人倍率(12月)◆

2か月連続で前年を下回った

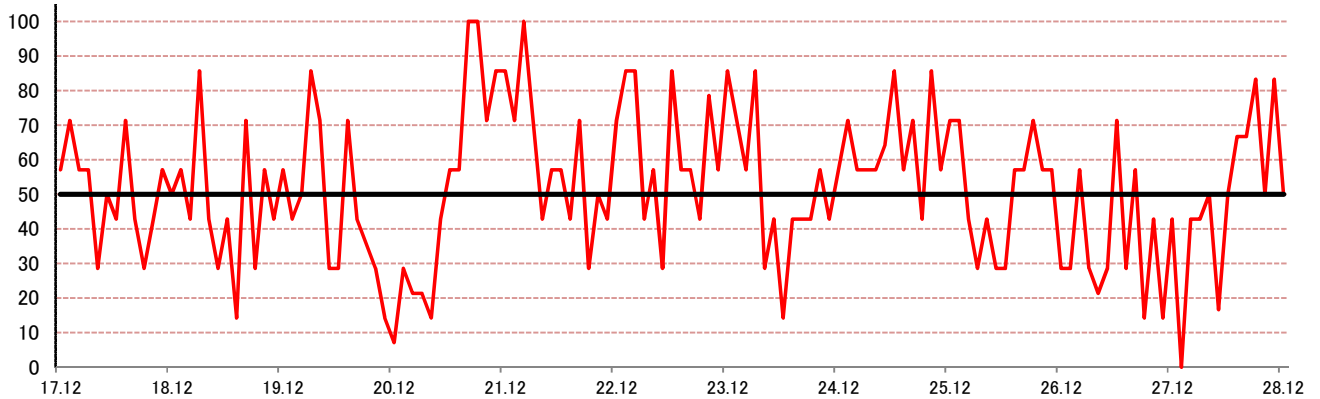
(前年同月差:ポイント)



[景気動向指数・全国の景気]

■ 北海道の景気動向指数

景気動向指数(一致系列)グラフ



景気動向指数(先行・一致・遅行)変化

系 列 名		27/ 12月	28/ 1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
先 行 系 列	新規求人数(新規学卒を除く全数)	+	+	+	-	-	-	+	+	+	+	-	-	+
	雇用保険受給者実人員(逆サイクル)	-	-	+	-	+	+	+	+	-	-	-	+	-
	生産指数(生産財)	-	-	+	+	+	+	-	-	-	-	-	r +	p +
	新車登録台数(軽を含む乗用車)	+	-	+	-	+	+	+	-	+	+	+	+	+
	新設住宅着工戸数	-	+	+	+	+	+	-	-	-	-	+	-	-
	企業倒産件数(逆サイクル)	+	+	+	+	-	-	-	-	+	-	+	-	+
	企業業況判断D.I.	+	0	0	0	+	+	+	-	-	-	0	0	0
	拡張系列数	4	3.5	5.5	3.5	5	5	4	2	3	2	3.5	3.5	4.5
	採用系列数	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7
	先行指数	57.1	50.0	78.6	50.0	71.4	71.4	57.1	28.6	42.9	28.6	50.0	r 50.0	p 64.3
一 致 系 列	有効求人倍率(新規学卒を除く全数)	+	-	-	-	-	-	+	+	-	+	+	+	-
	生産指数(鉱工業)	-	-	-	+	+	-	+	+	+	+	-	r +	p -
	出荷指数(生産財)	-	-	-	+	+	-	-	-	+	+	+	r +	p +
	大口電力使用量	-	-	+	-	/	/	/	/	/	/	/	/	/
	百貨店販売額(既存店)	+	-	+	-	-	-	+	+	+	+	-	r +	p -
	着工建築物数(鉱業、建設業用+製造業用)	+	-	+	+	+	+	-	-	-	-	+	-	+
	輸入通関実績(原油及び粗油を除く)	-	-	-	-	-	-	-	+	+	+	-	r +	p +
	拡張系列数	3	0	3	3	3	1	3	4	4	5	3	5	3
	採用系列数	7	7	7	7	6	6	6	6	6	6	6	6	6
	一致指数	42.9	0	42.9	42.9	50.0	16.7	50.0	66.7	66.7	83.3	50.0	r 83.3	p 50.0
遅 行 系 列	常用雇用指数(規模30人以上)	+	+	+	-	-	-	+	-	-	-	-	+	
	完全失業率(逆サイクル)	+	-	-	-	0	0	0	-	-	-	+	+	+
	消費者物価指数(総合)	-	-	-	-	+	-	0	-	0	+	+	+	+
	家計消費支出(二人以上の勤労者世帯)	-	-	-	-	-	+	-	+	+	+	+	+	+
	生産指数(資本財)	-	-	-	-	+	-	+	+	+	-	-	r -	p -
	拡張系列数	2	1	1	0	2.5	1.5	3	2	2.5	2	3	4	3
	採用系列数	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	4
	遅行指数	40.0	20.0	20.0	0.0	50.0	30.0	60.0	40.0	50.0	40.0	60.0	r 80.0	p 75.0

(注) 1 北海道経済部経済企画局経済企画課試算。pは速報値、rは確報値。

2 景気動向指数(Diffusion Index 略してDI)は、景気に敏感な諸指標を選定し、そのうち上昇(拡張)を示している指標の割合を示すものであり、景気局面の判断、予測と景気転換点(景気の山・谷)の判定に用いる。採用系列の各月の値を3か月前の値と比較して、増加した時には+を、保合いの時には0を、減少した時には-をつける(変化方向表)。その上で、先行、一致、遅行の各系列群ごとに採用系列数に占める拡張系列数(+の数)の割合(%)をDIとする。

DI=拡張系列数/採用系列数×100(%) (保合い(0)の場合は0.5としてカウントする。)

最近の経済動向
平成29年2月号

編集・発行 北海道経済部経済企画局経済企画課

TEL 011-204-5139

「最近の経済動向」のデータ集は、北海道のホームページでご覧になれます。

<http://www.pref.hokkaido.lg.jp/kz/kks/ksk/tgs/saikin-doukou.htm>